

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012019	事務事業名	企画管理事務費		
担当部・課名	政策推進部 企画課	評価者(課長)	川口 洋司	評価責任者(部長)	山本 敏明

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民	事業の目的(意図)	まちづくり総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を効果的に推進し、将来にわたって持続可能なまちづくりを実現する。また、市長の政策の実現や市が直面する諸課題への対応などについて、各部署へ側面的な支援を行い、円滑な市政運営につなげる。
事業の内容(手段)	○目標指標やKPIを活用した進捗管理 ○通常の管理業務や内部調整事務のほか、新規企画業務や特命事項、また、突発的な業務への対応を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	4,511	4,402	4,715	4,726	4,726
(予算額)	うち一財	千円	4,511	4,402	4,715	4,726	4,726
(決算額)	直接事業費	千円	3,850	4,014		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	3,850	4,014			
	正職員人件費	千円	20,882	24,167			
	人工数	人	2.85	3.28	2.90		
	支出コスト	千円	決) 24,732	決) 28,181			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	総合計画や総合戦略の進行管理、行政改革について一体的に取り組む体制が整い、効果的効率的な仕組みづくりを進めている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 急速に変化する社会情勢に迅速かつ的確に対応するためには、事務の効率化を進めるとともに、先進的な事例等の情報収集に努め、政策立案に生かす必要がある。	
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	内部管理業務であり数値目標の設定には適さないが、総合計画や総合戦略の確実な推進のために、これらの進行管理と行政評価との連動に取り組むとともに、外部委員による評価やPDCAサイクルの導入など、効率的・効果的かつ着実な行政運営を目指して取り組んだ。
	事務事業の方向性	円滑な市政運営に不可欠な業務であり、常に費用対効果を意識しながら、適切かつ迅速な対応を行う。	評価責任者コメント	まちづくり総合計画に掲げる都市像実現に向けた様々な施策の進捗管理と時代の変化に即応した施策の見直しや新規計画に的確に対応している。本市最大の課題の1つである人口減少問題に向けて、周南市独自の最適な政策推進戦略をさらに進めて欲しい。	

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
実績等に基づく経費の見直し(需用費消耗品費 △53千円)	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	総合計画及び総合戦略の進捗管理	総合計画及び総合戦略を効果的に推進し、将来にわたり自立した持続可能なまちづくりを目指す	外部有識者による進捗状況評価	4,014	0.85	0.00	
				否			
②	総合計画等の進捗管理とマネジメントシステムの連動	総合計画や総合戦略と進捗管理と周南市版マネジメントシステムを連動させ、効率的かつ効果的な進捗管理体制を構築する	課内及び部内の調整、各種調査への回答等		0.50	0.00	
				否			
③	政策推進に係る新規施策等の検討(市長特命事項への対応)	市長特命事項・突発業務へ対応するとともに、市長のめざす、まちづくりの早期実現を図る	市長からの指示事項の調査研究担当部局との調整		0.85	0.00	
				否			
④	政策推進に係る新規施策等の検討(議会対応)	執行部と議会との円滑な運営	議会対応の総合窓口、議会事務局との総合調整		0.35	0.00	
				否			
⑤	第2次まちづくり総合計画実施計画の策定及び進捗管理	まちづくり総合計画の進捗状況を分析・検証し、効率的・効果的な行政経営を推進する	基本計画に基づき、3カ年を期間としたローリング方式により実施計画を策定・公表		0.58	0.00	
				否			
⑥	地域活性化包括連携協定	高等教育機関や民間企業と相互連携し、地域の発展や人材育成を図る	徳山大学、徳山高専との三者連携協定による連携及び民間企業等との包括協定による協働体制の構築		0.15	0.00	
				否			

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	012060	事務事業名	市政アドバイザー事業費		
担当部・課名	政策推進部 企画課	評価者(課長)	川口 洋司	評価責任者(部長)	山本 敏明

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900202	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)他の自治体や多様な主体との連携			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	職員及び市民	事業の目的(意図)	専門的な立場による助言等を市政に活かすことで、市の諸課題へのスピーディーな対応につなげる。
事業の内容(手段)	本市ゆかりの学識経験者「市政アドバイザー」から、市が直面する諸課題について、専門的・大局的な視点での助言・提言等を受け、本市のまちづくりに活用する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	5.0	5.0	5.0
					実績値	4.0	4.0	
					達成度(%)	80.0%	80.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	630	630	-	-
	うち一財	千円	630	630	-	-	-
(決算額)	直接事業費	千円	512	400		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	512	400			
	正職員人件費	千円	3,664	2,579			
	人工数	人	0.50	0.35	-		
	支出コスト	千円	決) 4,176	決) 2,979			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成24年度より開始。市長をはじめ担当部局が専門的視点からの助言等を受け、課題の解決に活かしている。平成30年度からは企画管理事務費に統合し、より効率的に事業を実施する予定。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 アドバイザーにおいては、緊急に本市に出向いていただくのは困難な場合があるため、メール等も併用し、効率的にアドバイスを、迅速に施策に活かす工夫が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	急速に変化する社会に対応するには、幅広い情報や専門的視点が必要となることも多く、引き続き事業に対する助言を受けるとともに、市職員や市民に対する勉強会、講演会等も開催し、職員、市民の知識向上を図っていく。	評価責任者コメント	本市の抱える課題等に対して、専門的な見地だけでなく、国の動向や将来予測など幅広い見識から助言・提言をいただいている。非常に多忙な方々であり、日程調整等の課題もあるが、的確なアドバイスを市政運営に活かすとともに、職員の知識向上につなげて欲しい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
平成30年度予算より企画管理事務費に統合	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	市政アドバイザー事業	市政アドバイザーを活用し、市が直面する諸課題の解決を図る	本市ゆかりの学識経験者「市政アドバイザー」から、市が直面する諸課題について、専門的・大局的な視点での助言・提言等を受け、本市のまちづくりに活用する。	400	0.35	0.00	
				否			
②							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	782007	事務事業名	地域総合整備資金貸付事業費			
担当部・課名	政策推進部 企画課	評価者(課長)	川口 洋司	評価責任者(部長)	山本 敏明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	地域振興に資する民間事業者等を支援し、もって活力と魅力ある地域づくりの推進に寄与する	事業の目的(意図)	本市における起業・設備投資の促進、雇用の拡大
事業の内容(手段)	地域振興に資する民間事業活動等の積極的展開を図るため、(一財)地域総合整備財団の支援のもと、地方債を原資として民間事業者等に資金の貸し付けを行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	-	1.0
新規貸付件数		(一財)地域総合整備財団の制度を活用し、新たに貸し付けを行った件数	件	実績値	-	0.0	-
				達成度(%)	-	0.0%	-

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	-	503,000	-	-
うち一財		千円	-	0	-	-	-
(決算額)	直接事業費	千円	-	0		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	-	0			
	正職員人件費	千円	-	1,105			
	人工数	人	-	0.15	-		
	支出コスト	千円	-	決) 1,105			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	本市においては、7件の貸付け実績あり		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 制度の周知を図る。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	平成29年度の貸付がなくなったため。
	事務事業の方向性	地域振興に資する民間事業者等を支援する事業であり、引き続き取り組む。		評価責任者コメント	地域経済の活性化と雇用創出を図るための有効な事業であり、制度の周知に取り組んで欲しい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
平成30年度、平成31年度貸付予定なし。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	地域総合整備資金貸付	ふるさと財団の支援のもと、民間事業者等に資金の貸し付けを行い、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。	民間事業者や(一財)地域総合整備財団との連絡調整	0	0.15		
				否			
②							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	911005	事務事業名	行政改革関係費			
担当部・課名	政策推進部 企画課	評価者(課長)	川口 洋司	評価責任者(部長)	山本 敏明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900201	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)行財政改革の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市が実施する事務事業	事業の目的(意図)	・行財政改革大綱の目標である『自立したまちづくり』を実現するための行財政改革のさらなる推進を図るための事業を推進する。 ・まちづくり総合計画を着実に推進するため、行政評価を軸とし、実施計画、予算編成、組織機構など一体的な行財政運営を進められるようシステム化を図り、各施策で実施される行政サービスの向上を目指す。
事業の内容(手段)	・第3次行財政改革大綱に基づき、各所管課に対して着実な業務改善を要請し、見直しを図る。 ・第3次行財政改革大綱個別行動計画の着実な進捗を図る。 ・事務の効率化、職員の改善意識の向上等を図るため、施策評価及び事務事業評価を実施する。 ・市議会が行う行政評価との連携、協力を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	行財政改革大綱個別行動計画の実施状況	行財政改革大綱個別行動計画を実施した割合	%	目標値	100.0	100.0	100.0
			実績値	98.2	100.0		
			達成度(%)	98.2%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	921	750	550	523
うち一財		千円	921	750	550	523	381
(決算額)	直接事業費	千円	359	451		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	359	451			
	正職員人件費	千円	12,090	14,147			
	人工数	人	1.65	1.92	1.80		
	支出コスト	千円	決) 12,449	決) 14,598			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成27年度から第3次行財政改革大綱がスタートした。平成28年度から行政評価推進事業を本事業に統合し、一体的に事業展開を図っている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 緊急財政対策と連携を図り、事務事業の見直しについてさらなる強化を図る必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	財源不足解消に向け、行政評価の精度をさらに向上させるとともに、緊急財政対策との連携を図りながら進めていく必要がある。自立したまちづくりの実現に向け、第3次行財政改革大綱の着実な進捗を行う。	評価責任者コメント	まちづくり総合計画・総合戦略と行政評価の連携により、効果的・効率的な政策推進を図ることで、財源不足の解消を実現し、持続可能なまちづくりを着実に進めていく必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
H31年度より、システムによる行政評価を実施することで、効率的・効果的な評価を実施するとともに、予算や実施計画等との連動の強化を図る。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	行政改革推進本部活用事業	行政改革推進本部開催回数の増加	行政改革推進本部の開催(2回開催)	14	0.13	0.00	
				否			
②	第3次行財政改革大綱及び個別行動計画進行管理事業	第3次行財政改革大綱個別行動計画の実施率	第3次行財政改革大綱個別行動計画の進行管理を行った。(実施率:100%)	176	0.30	0.00	
				否			
③	第三セクター等経営評価検討委員会活用事業	委員会の開催	委員会において評価・検証を行った。委員会から提案のあった改善案を所管課へ通知した。(委員会の開催:5回)	141	0.40	0.00	
				可			
④	職員提案制度推進事業	職員提案件数の増加	職員に提案及び改善報告を募集し、審査を行った。(H29実績:8件)	17	0.15	0.00	
				可			
⑤	外部委託推進事業	直営から民間委託へ変更する件数	外部委託推進ガイドラインに基づき、外部委託を推進した。	11	0.10	0.00	
				可			

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
⑥	合併未調整調査事業	未調整項目の早期調整	未調整項目の状況把握を行った。	5		0.05	0.00
				可			
⑦	周南市版マネジメントシステム推進事業	サマーレビューによるヒアリングの実施	部・課の運営方針書の公表 関係4課が連携し、サマーレビューを開催	26		0.24	0.00
				否			
⑧	事務事業評価推進事業	事務事業評価の実施	事務事業評価実績 A評価:364事業、B評価:367事業、C評価:37事業、D評価:17事業	44		0.40	0.00
				否			
⑨	施策評価推進事業	施策評価を実施し、施策の方向性を決定	施策評価実績 重点推進:17施策、推進(緊急性あり):16 施策、推進:28施策、維持:88施策	17		0.15	0.00
				否			